

高圧ガス関係事故集計  
(令和2年2月末現在)

令和2年5月

表1 高圧ガス事故統計集計表  
(令和2年2月末現在)

1. 年別及び月別事故 (累計) [注1]

年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
1月	92	101	122	76	76	53	70	74	68	50	49
2月	71	77	93	62	57	64	61	68	54	58	27
3月	84	167	65	79	62	78	87	63	60	54	0
4月	79	69	60	67	68	80	139	59	61	66	0
5月	69	67	75	64	67	61	81	70	63	55	0
6月	73	81	76	66	68	66	65	67	73	46	0
7月	73	79	112	66	58	70	78	88	173	66	0
8月	87	77	64	73	83	55	85	70	70	47	0
9月	103	150	70	61	54	50	64	56	62	53	0
10月	87	84	77	83	61	68	90	72	79	60	0
11月	67	75	76	76	70	56	69	69	59	57	0
12月	80	56	68	67	74	66	73	77	56	64	0
合計	965	1083	958	840	798	767	962	833	878	676	76
対前年比 [注2]	12.9	12.2	▲ 11.5	▲ 12.3	▲ 5.0	▲ 3.9	25.4	▲ 13.4	5.4	▲ 23.0	▲ 88.8

[注1] 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

[注2] 対前年比の欄は、前年の合計に対する増減(%)を表す。

表1-1 高圧ガス事故統計集計表【災害】  
(令和2年2月末現在)

1. 年別及び月別事故 (累計) [注1]

年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
1月	31	42	32	32	21	24	47	45	52	48	45
2月	24	27	42	31	32	29	37	44	38	55	25
3月	25	105	26	31	32	46	47	42	44	48	0
4月	32	33	33	27	36	47	48	39	53	59	0
5月	25	33	41	32	32	41	61	46	62	53	0
6月	40	44	42	35	35	47	43	52	71	44	0
7月	33	41	41	37	31	49	55	59	102	60	0
8月	45	44	39	43	45	43	52	52	65	47	0
9月	57	33	34	22	35	20	52	42	55	48	0
10月	43	28	37	43	28	39	60	55	70	51	0
11月	26	38	35	37	30	44	43	48	54	54	0
12月	25	22	27	25	34	37	46	53	51	61	0
合計	406	490	429	395	391	466	591	577	717	628	70
対前年比 [注2]	24.2	20.7	▲ 12.4	▲ 7.9	▲ 1.0	19.2	26.8	▲ 2.4	24.3	▲ 12.4	▲ 88.9

[注1] 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【災害】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第1号に規定する場合をいう。

[注2] 対前年比の欄は、前年の合計に対する増減(%)を表す。

**表 1 - 2 高圧ガス事故統計集計表【喪失・盗難】**  
(令和2年2月末現在)

1. 年別及び月別事故 (累計) <sup>〔注1〕</sup>

年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
1月	61	59	90	44	55	29	23	29	16	2	4
2月	47	50	51	31	25	35	24	24	16	3	2
3月	59	62	39	48	30	32	40	21	16	6	0
4月	47	36	27	40	32	33	91	20	8	7	0
5月	44	34	34	32	35	20	20	24	1	2	0
6月	33	37	34	31	33	19	22	15	2	2	0
7月	40	38	71	29	27	21	23	29	71	6	0
8月	42	33	25	30	38	12	33	18	5	0	0
9月	46	117	36	39	19	30	12	14	7	5	0
10月	44	56	40	40	33	29	30	17	9	9	0
11月	41	37	41	39	40	12	26	21	5	3	0
12月	55	34	41	42	40	29	27	24	5	3	0
合計	559	593	529	445	407	301	371	256	161	48	6
対前年比 <sup>〔注2〕</sup>	5.9	6.1	▲ 10.8	▲ 15.9	▲ 8.5	▲ 26.0	23.3	▲ 31.0	▲ 37.1	▲ 70.2	▲ 87.5

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【喪失・盗難】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第2号に規定する場合をいう。

〔注2〕 対前年比の欄は、前年の合計に対する増減(%)を表す。

表2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)

(令和2年2月末現在)

区分		年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
製 造 事 業 所	冷 凍		193	273	271	328	(75) 284	(20)
	コンビナート		45	45	44	86	(13) 75	(10)
	L P		17	22	12	33	(12) 36	(3)
	一 般		84	138	145	167	(36) 157	(24)
	計		339	478	472	614	(136) 552	(57)
移 動			24	23	19	22	(7) 28	(4)
消 費			380	445	321	191	(15) 67	(8)
そ の 他			24	16	21	51	(4) 29	(7)
合 計			767	962	833	878	(162) 676	(76)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-1 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【災害】

(令和2年2月末現在)

区分		年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
製 造 事 業 所	冷 凍		193	273	271	328	(75) 284	(20)
	コンビナート		45	45	44	86	(13) 75	(10)
	L P		17	20	11	28	(12) 36	(3)
	一 般		84	137	143	161	(35) 151	(24)
	計		339	475	469	603	(135) 546	(57)
移 動			24	23	18	20	(6) 26	(4)
消 費			83	80	73	74	(7) 41	(6)
そ の 他			20	13	17	20	(3) 15	(3)
合 計			466	591	577	717	(151) 628	(70)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和2年2月末現在)

区分		年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
製 造 事 業 所	冷 凍		0	0	0	0	(0) 0	(0)
	コンビナート		0	0	0	0	(0) 0	(0)
	L P		0	2	1	5	(0) 0	(0)
	一 般		0	1	2	6	(1) 6	(0)
	計		0	3	3	11	(1) 6	(0)
移 動			0	0	1	2	(1) 2	(0)
消 費			297	365	248	117	(8) 26	(2)
そ の 他			4	3	4	31	(1) 14	(4)
合 計			301	371	256	161	(11) 48	(6)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）

（令和2年2月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
令和2年	(3)	(3)	(3)	(9)	(4)	(3)	(3)	(2)	(4)	(1)	(17)	(0)	(2)	(0)	(2)	(2)	(2)	(4)	(0)	(0)	(38)	(6)	(44)	(76)																								
平成31年	(7)	19	(9)	24	(10)	33	(26)	76	(28)	135	(3)	11	(9)	30	(13)	40	(7)	36	(1)	10	(61)	262	(1)	3	(2)	6	(1)	2	(4)	11	(13)	53	(1)	8	(14)	61	(1)	11	(0)	13	(52)	220	(4)	18	(57)	262	(162)	672
平成30年		37		68		45		150		124		18		35		47		52		13		289		4		10		0		14		59		15		74		89		20		178		64		351		878
平成29年		29		23		43		95		113		29		30		56		41		8		277		0		8		3		11		38		3		41		23		19		162		205		409		833
平成28年		31		15		34		80		109		20		42		60		49		10		290		1		13		1		15		43		9		52		84		22		153		266		525		962
平成27年		55		10		24		89		93		31		17		31		31		21		224		3		6		1		10		42		6		48		8		17		96		275		396		767

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-1 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（令和2年2月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
令和2年	(3)	(3)	(3)	(9)	(4)	(3)	(3)	(2)	(4)	(1)	(17)	(0)	(2)	(0)	(2)	(2)	(2)	(4)	(0)	(0)	(38)	(0)	(38)	(70)																								
平成31年	(7)	19	(9)	24	(10)	33	(26)	76	(28)	135	(3)	11	(9)	30	(13)	40	(7)	36	(1)	10	(61)	262	(1)	3	(2)	6	(1)	2	(4)	11	(13)	53	(1)	8	(14)	61	(0)	3	(0)	13	(46)	198	(0)	0	(46)	214	(151)	624
平成30年		37		68		45		150		124		18		35		47		52		13		289		4		10		0		14		59		15		74		17		20		153		0		190		717
平成29年		29		23		43		95		113		29		30		56		41		8		277		0		8		3		11		38		3		41		3		19		131		0		153		577
平成28年		31		15		34		80		109		20		42		60		49		10		290		1		13		1		15		43		9		52		8		22		124		0		154		591
平成27年		55		10		24		89		93		31		17		31		31		21		224		3		6		1		10		42		6		48		4		17		74		0		95		466

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-2 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（令和2年2月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																							
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																						
令和2年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(6)	(6)																						
平成31年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	8	(0)	0	(6)	22	(4)	18	(11)	48	(11)	48
平成30年		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		72		0		25		64		161		161
平成29年		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		20		0		31		205		256		256
平成28年		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		76		0		29		266		371		371
平成27年		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		4		0		22		275		301		301

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表 4 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)**

(令和2年2月末現在)

業種 年	石 油		石 油		一 般		冷 凍		充 填 所		容 器		そ の 他		合 計	
	精 製		化 学		化 学		事 業 所		検 査 所		検 査 所					
令和2年	(5)		(1)		(3)		(20)		(0)		(0)		(28)	(57)		
平成31年	(1)	37	(5)	22	(10)	26	(75)	284	(0)	3	(0)	0	(45)	180	(136)	552
平成30年		39		32		41		328		24		1		149		614
平成29年		22		12		34		271		9		1		123		472
平成28年		19		11		37		273		13		2		123		478
平成27年		16		10		24		193		8		0		88		339

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表 4-1 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【災害】**

(令和2年2月末現在)

業種 年	石 油		石 油		一 般		冷 凍		充 填 所		容 器		そ の 他		合 計	
	精 製		化 学		化 学		事 業 所		検 査 所		検 査 所					
令和2年	(5)		(1)		(3)		(20)		(0)		(0)		(28)	(57)		
平成31年	(1)	37	(5)	22	(10)	26	(75)	284	(0)	2	(0)	0	(44)	175	(135)	546
平成30年		39		32		41		328		17		1		145		603
平成29年		22		12		34		271		9		1		120		469
平成28年		19		11		37		273		11		2		122		475
平成27年		16		10		24		193		8		0		88		339

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表 4-2 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【喪失・盗難】**

(令和2年2月末現在)

業種 年	石 油		石 油		一 般		冷 凍		充 填 所		容 器		そ の 他		合 計	
	精 製		化 学		化 学		事 業 所		検 査 所		検 査 所					
令和2年	(0)		(0)		(0)		(0)		(0)		(0)		(0)	(0)		
平成31年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(1)	5	(1)	6
平成30年		0		0		0		0		7		0		4		11
平成29年		0		0		0		0		0		0		3		3
平成28年		0		0		0		0		2		0		1		3
平成27年		0		0		0		0		0		0		0		0

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）

（令和2年2月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
令和2年	(3)	(3)	(2)	(8)	(3)	(3)	(1)	(2)	(4)	(1)	(14)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(2)	(3)	(0)	(0)	(31)	(0)	(31)	(57)																								
平成31年	(7)	19	(9)	24	(9)	32	(25)	75	(28)	133	(3)	11	(8)	26	(11)	36	(7)	36	(0)	1	(57)	243	(1)	3	(2)	4	(1)	2	(4)	9	(8)	36	(1)	5	(9)	41	(0)	4	(0)	2	(40)	173	(1)	5	(41)	184	(136)	552
平成30年		36		67		45		148		121		18		25		40		51		3		258		3		7		0		10		41		3		44		17		1		136		0		154		614
平成29年		28		22		41		91		112		25		25		48		39		3		252		0		6		3		9		21		0		21		1		2		94		2		99		472
平成28年		30		15		34		79		108		19		35		58		47		2		269		0		6		0		6		23		2		25		8		0		90		1		99		478
平成27年		51		8		21		80		89		30		6		29		30		6		190		2		2		0		4		16		3		19		2		1		43		0		46		339

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5-1 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（令和2年2月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
令和2年	(3)	(3)	(2)	(8)	(3)	(3)	(1)	(2)	(4)	(1)	(14)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(2)	(3)	(0)	(0)	(31)	(0)	(31)	(57)																								
平成31年	(7)	19	(9)	24	(9)	32	(25)	75	(28)	133	(3)	11	(8)	26	(11)	36	(7)	36	(0)	1	(57)	243	(1)	3	(2)	4	(1)	2	(4)	9	(8)	36	(1)	5	(9)	41	(0)	3	(0)	2	(40)	173	(0)	0	(40)	178	(135)	546
平成30年		36		67		45		148		121		18		25		40		51		3		258		3		7		0		10		41		3		44		11		1		131		0		143		603
平成29年		28		22		41		91		112		25		25		48		39		3		252		0		6		3		9		21		0		21		1		2		93		0		96		469
平成28年		30		15		34		79		108		19		35		58		47		2		269		0		6		0		6		23		2		25		7		0		89		0		96		475
平成27年		51		8		21		80		89		30		6		29		30		6		190		2		2		0		4		16		3		19		2		1		43		0		46		339

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5-2 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（令和2年2月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
令和2年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成31年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0
平成30年		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
平成29年		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
平成28年		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
平成27年		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表6 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)**

(令和2年2月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
令和2年	(0)	(0)	(4)	(4)
平成31年	(1) 13	(0) 1	(6) 14	(7) 28
平成30年	8	4	10	22
平成29年	7	1	11	19
平成28年	19	1	3	23
平成27年	16	0	8	24

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表6-1 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【災害】**

(令和2年2月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
令和2年	(0)	(0)	(4)	(4)
平成31年	(1) 13	(0) 1	(5) 12	(6) 26
平成30年	8	2	10	20
平成29年	6	1	11	18
平成28年	19	1	3	23
平成27年	16	0	8	24

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表6-2 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【喪失・盗難】**

(令和2年2月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
令和2年	(0)	(0)	(0)	(0)
平成31年	(0) 0	(0) 0	(1) 2	(1) 2
平成30年	0	2	0	2
平成29年	1	0	0	1
平成28年	0	0	0	0
平成27年	0	0	0	0

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。



表7 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）

(令和2年2月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計														
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計															
令和2年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(4)														
平成31年	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(1)	2	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	4	(0)	1	(1)	5	(0)	0	(0)	6	(2)	10	(1)	1	(3)	17	(7)	28
平成30年	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	0	3	1	4	0	8	4	0	12	22													
平成29年	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	2	0	2	0	6	6	0	12	19														
平成28年	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23														
平成27年	0	0	0	0	1	1	4	0	0	2	8	0	0	0	0	4	1	5	0	10	1	0	11	24														

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-1 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

(令和2年2月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計														
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計															
令和2年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(4)														
平成31年	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(0)	0	(0)	0	(1)	2	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	4	(0)	1	(1)	5	(0)	0	(0)	6	(2)	9	(0)	0	(2)	15	(6)	26
平成30年	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	0	3	1	4	0	8	2	0	10	20													
平成29年	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	2	0	2	0	6	5	0	11	18														
平成28年	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23														
平成27年	0	0	0	0	1	1	4	0	0	2	8	0	0	0	0	4	1	5	0	10	1	0	11	24														

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-2 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

(令和2年2月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計			
令和2年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
平成31年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(1)	2	(1)	2
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2		
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1		
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表 8 消費先事故の物質名による分析(最近6年間)**

(令和2年2月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
令和2年	(3)	(3)	(0)	(1)	(0)	(1)	(8)
平成31年	(1) 17	(9) 32	(0) 0	(1) 4	(0) 0	(4) 14	(15) 67
平成30年	20	109	1	17	1	43	191
平成29年	28	258	1	12	0	22	321
平成28年	34	376	1	13	1	20	445
平成27年	40	305	0	11	1	23	380

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

**表 8-1 消費先事故の物質名による分析(最近6年間)【災害】**

(令和2年2月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
令和2年	(2)	(2)	(0)	(1)	(0)	(1)	(6)
平成31年	(0) 9	(5) 21	(0) 0	(0) 2	(0) 0	(2) 9	(7) 41
平成30年	11	33	1	9	1	19	74
平成29年	13	40	1	4	0	15	73
平成28年	16	41	1	7	1	14	80
平成27年	21	39	0	4	1	18	83

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガスによる災害の場合は、アセチレンによる災害としている。

**表 8-2 消費先事故の物質名による分析(最近6年間)【喪失・盗難】**

(令和2年2月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
令和2年	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)
平成31年	(1) 8	(4) 11	(0) 0	(1) 2	(0) 0	(2) 5	(8) 26
平成30年	9	76	0	8	0	24	117
平成29年	15	218	0	8	0	7	248
平成28年	18	335	0	6	0	6	365
平成27年	19	266	0	7	0	5	297

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表9 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）

（令和2年2月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計										
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計											
令和2年	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(3)	(2)	(5)	(8)										
平成31年	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)	2	(1)	3	(0)	0	(0)	1	(0)	1	(2)	8	(0)	2	(2)	10	(1)	5	(0)	4	(9)	29	(2)	9	(12)	47	(15)	67
平成30年	1	0	0	1	1	0	7	7	1	2	18	0	2	0	2	11	9	20	50	11	32	57	150	191										
平成29年	1	0	1	2	1	4	4	7	2	0	18	0	1	0	1	12	1	13	22	11	52	202	287	321										
平成28年	1	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	76	12	51	264	403	445										
平成27年	4	1	2	7	3	0	7	2	0	10	22	1	3	1	5	18	1	19	6	6	42	273	327	380										

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-1 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（令和2年2月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計										
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計											
令和2年	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(3)	(0)	(3)	(6)										
平成31年	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)	2	(1)	3	(0)	0	(0)	1	(0)	1	(2)	8	(0)	2	(2)	10	(0)	0	(0)	4	(4)	17	(0)	0	(4)	21	(7)	41
平成30年	1	0	0	1	1	0	7	7	1	2	18	0	2	0	2	11	9	20	5	11	17	0	33	74										
平成29年	1	0	1	2	1	4	4	7	2	0	18	0	1	0	1	12	1	13	2	11	26	0	39	73										
平成28年	1	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	1	12	25	0	38	80										
平成27年	4	1	2	7	3	0	7	2	0	10	22	1	3	1	5	18	1	19	2	6	22	0	30	83										

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-2 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（令和2年2月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計						
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計							
令和2年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(2)	(2)						
平成31年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	5	(0)	0	(5)	12	(2)	9	(8)	26	(8)	26
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	0	15	57	117	117						
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	26	202	248	248						
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	26	264	365	365						
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	20	273	297	297						

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表10 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)**

(令和2年2月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中	容器等の くず化	放 置 容 器	その他	合 計
令和2年	(0)	(0)	(0)	(7)	(7)
平成31年	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(4) 28	(4) 29
平成30年	0	3	0	48	51
平成29年	0	3	1	17	21
平成28年	0	1	1	14	16
平成27年	0	0	0	24	24

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表10-1 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【災害】**

(令和2年2月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中	容器等の くず化	放 置 容 器	その他	合 計
令和2年	(0)	(0)	(0)	(3)	(3)
平成31年	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(3) 14	(3) 15
平成30年	0	3	0	17	20
平成29年	0	3	1	13	17
平成28年	0	1	1	11	13
平成27年	0	0	0	20	20

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表10-2 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【喪失・盗難】**

(令和2年2月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中	容器等の くず化	放 置 容 器	その他	合 計
令和2年		(0)		(4)	(4)
平成31年		(0) 0		(1) 14	(1) 14
平成30年		0		31	31
平成29年		0		4	4
平成28年		0		3	3
平成27年		0		4	4

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11 現象別区分による分析(最近6年間)

(令和2年2月末現在)

年 現象	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年			令和2年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発	7	0	5	7	0	6	4	0	4	6	0	4	(3) 6	(0) 0	(3) 6	(0)	(0)	(0)
火 災	7	0	1	10	0	2	5	0	4	13	0	4	(7) 21	(0) 1	(1) 9	(5)	(0)	(3)
噴出漏洩	424	2	44	548	1	35	551	1	34	665	0	44	(122) 542	(0) 1	(16) 34	(55)	(0)	(1)
破裂・破壊	20	0	8	17	1	8	10	0	2	17	0	2	(16) 38	(0) 0	(0) 4	(8)	(0)	(0)
そ の 他	309	0	10	380	2	0	263	0	2	177	0	12	(14) 69	(0) 0	(1) 7	(8)	(0)	(0)
合 計	767	2	68	962	4	51	833	1	46	878	0	66	(162) 676	(0) 2	(21) 60	(76)	(0)	(4)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-1 現象別区分による分析(最近6年間)【災害】

(令和2年2月末現在)

年 現象	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年			令和2年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発	7	0	5	7	0	6	4	0	4	6	0	4	(3) 6	(0) 0	(3) 6	(0)	(0)	(0)
火 災	7	0	1	10	0	2	5	0	4	13	0	4	(7) 21	(0) 1	(1) 9	(5)	(0)	(3)
噴出漏洩	424	2	44	548	1	35	551	1	34	665	0	44	(122) 542	(0) 1	(16) 34	(55)	(0)	(1)
破裂・破壊	20	0	8	17	1	8	10	0	2	17	0	2	(16) 38	(0) 0	(0) 4	(8)	(0)	(0)
そ の 他	8	0	10	9	2	0	7	0	2	16	0	12	(3) 21	(0) 0	(1) 7	(2)	(0)	(0)
合 計	466	2	68	591	4	51	577	1	46	717	0	66	(151) 628	(0) 2	(21) 60	(70)	(0)	(4)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-2 現象別区分による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和2年2月末現在)

年 現象	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年			令和2年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発																		
火 災																		
噴出漏洩																		
破裂・破壊																		
そ の 他	301	0	0	371	0	0	256	0	0	161	0	0	(11) 48	(0) 0	(0) 0	(6)	(0)	(0)
合 計	301	0	0	371	0	0	256	0	0	161	0	0	(11) 48	(0) 0	(0) 0	(6)	(0)	(0)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表11 現象別区分による分析（最近6年間）

（令和2年2月末現在）

年 現象	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年			令和2年			
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	
爆 発	7	0	5	7	0	6	4	0	4	6	0	4	(3) 6	(0) 0	(3) 6	(0)	(0)	(0)	
火 災	7	0	1	10	0	2	5	0	4	13	0	4	(7) 21	(0) 1	(1) 9	(5)	(0)	(3)	
漏 え い	漏えい①	222	0	4	246	0	2	278	0	4	347	0	13	(78) 335	(0) 0	(12) 16	(25)	(0)	(0)
	漏えい②	103	0	3	186	0	18	165	0	10	208	0	11	(32) 127	(0) 0	(1) 6	(14)	(0)	(0)
	漏えい③	99	2	37	116	1	15	108	1	20	110	0	20	(12) 80	(0) 1	(3) 12	(16)	(0)	(1)
計	424	2	44	548	1	35	551	1	34	665	0	44	(122) 542	(0) 1	(16) 34	(55)	(0)	(1)	
破裂・破壊	20	0	8	17	1	8	10	0	2	17	0	2	(16) 38	(0) 0	(0) 4	(8)	(0)	(0)	
その他	309	0	10	380	2	0	263	0	2	177	0	12	(14) 69	(0) 0	(1) 7	(8)	(0)	(0)	
合 計	767	2	68	962	4	51	833	1	46	878	0	66	(162) 676	(0) 2	(21) 60	(76)	(0)	(4)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

別表11-1 現象別区分による分析（最近6年間）【災害】

（令和2年2月末現在）

年 現象	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年			令和2年			
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	
爆 発	7	0	5	7	0	6	4	0	4	6	0	4	(3) 6	(0) 0	(3) 6	(0)	(0)	(0)	
火 災	7	0	1	10	0	2	5	0	4	13	0	4	(7) 21	(0) 1	(1) 9	(5)	(0)	(3)	
漏 え い	漏えい①	222	0	4	246	0	2	278	0	4	347	0	13	(78) 335	(0) 0	(12) 16	(25)	(0)	(0)
	漏えい②	103	0	3	186	0	18	165	0	10	208	0	11	(32) 127	(0) 0	(1) 6	(14)	(0)	(0)
	漏えい③	99	2	37	116	1	15	108	1	20	110	0	20	(12) 80	(0) 1	(3) 12	(16)	(0)	(1)
計	424	2	44	548	1	35	551	1	34	665	0	44	(122) 542	(0) 1	(16) 34	(55)	(0)	(1)	
破裂・破壊	20	0	8	17	1	8	10	0	2	17	0	2	(16) 38	(0) 0	(0) 4	(8)	(0)	(0)	
その他	8	0	10	9	2	0	7	0	2	16	0	12	(3) 21	(0) 0	(1) 7	(2)	(0)	(0)	
合 計	466	2	68	591	4	51	577	1	46	717	0	66	(151) 628	(0) 2	(21) 60	(70)	(0)	(4)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

表12 人的被害の推移(最近6年間)

(令和2年2月末現在)

区分 年	人身事 故件数	死 亡 (名)	重 傷 (名)	軽 傷 (名)	死傷者 合 計
令和2年	(4)	(0)	(3)	(1)	(4)
平成31年	(9) 42	(0) 2	(3) 12	(18) 48	(21) 62
平成30年	45	0	11	55	66
平成29年	37	1	9	37	47
平成28年	40	4	7	44	55
平成27年	50	2	12	56	70

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表13 事故等級別事故発生件数(最近6年間)**  
(令和2年2月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計
令和2年	(0)		(4)		(72)		(76)
平成31年	(0)	0	(7)	24	(155)	652	(162) 676
平成30年		0		23		855	878
平成29年		0		19		814	833
平成28年		0		22		940	962
平成27年		0		44		723	767

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表13-1 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【災害】**  
(令和2年2月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計
令和2年	(0)		(4)		(66)		(70)
平成31年	(0)	0	(7)	24	(144)	604	(151) 628
平成30年		0		23		694	717
平成29年		0		19		558	577
平成28年		0		22		569	591
平成27年		0		44		422	466

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

**表13-2 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【喪失・盗難】**  
(令和2年2月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計
令和2年	(0)		(0)		(6)		(6)
平成31年	(0)	0	(0)	0	(11)	48	(11) 48
平成30年		0		0		161	161
平成29年		0		0		256	256
平成28年		0		0		371	371
平成27年		0		0		301	301

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。



別表13 事故等級別事故発生件数

(令和2年2月末現在)

年 \ 級	A級	B級		C級			合計
		B1級	B2級	C級	C1級	C2級	
令和2年	(0)	(0)	(4)		(17)	(55)	(76)
平成31年	(0) 0	(1) 3	(6) 21		(34) 116	(121) 536	(162) 676
平成30年	0	2	21		118	737	878
平成29年	0	2	17		105	709	833
平成28年	0	6	16		109	831	962
平成27年	0	5	39	723			767

※1 B1級事故は、B級事故からB2級事故を除いたもの。B2級事故は、同一事業所において事故が発生した日から1年を経過しない間に発生したC級事故（平成28年以降は、同一事業所においてA級事故、B級事故又はC1級事故が発生した日から1年を経過しない間に発生したC1級事故）。

※2 C1級事故は、C級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C2級事故は、C級事故からC1級事故を除いたもの。  
C級事故=C1級事故+C2級事故

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13-1 事故等級別事故発生件数【災害】

(令和2年2月末現在)

年 \ 級	A級	B級		C級			合計
		B1級	B2級	C級	C1級	C2級	
令和2年	(0)	(0)	(4)		(17)	(49)	(70)
平成31年	(0) 0	(1) 3	(6) 21		(34) 116	(110) 488	(151) 628
平成30年	0	2	21		118	576	717
平成29年	0	2	17		105	453	577
平成28年	0	6	16		109	460	591
平成27年	0	5	39	422			466

※1 B1級事故は、B級事故からB2級事故を除いたもの。B2級事故は、同一事業所において事故が発生した日から1年を経過しない間に発生したC級事故（平成28年以降は、同一事業所においてA級事故、B級事故又はC1級事故が発生した日から1年を経過しない間に発生したC1級事故）。

※2 C1級事故は、C級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C2級事故は、C級事故からC1級事故を除いたもの。  
C級事故=C1級事故+C2級事故

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。